

下水道総合計画見直し及び
下水道事業経営の在り方等検討委員会
議事要録

内容 第7回
日時 令和5年1月17日(火)
午後7時から午後9時まで
場所 武蔵野公会堂2階
第1・2合同会議室
出席委員7名 欠席1名

1. <次第1>財務シミュレーション結果について

○事務局 <次第1>を資料1にて説明

- ・パターンA, Bそれぞれについて各委員からご意見をいただきたい

[質疑]

○委員長 今回の資料としていくつか指標が記載されているが、経常収支比率と経費回収率の動きは似ているため、指標の持つ意味合いの違いの説明が示されていると良かった。また、債務償還年数、企業債残高、資金増減額についても増減が大きいのので定義を示す方が良い。

○G委員 P.7図表②の2038(令和20)年度の債務償還年数について、単年度の資金繰りの関係で極端に悪くなっているが、前後の年度との平均値を使用するなど調整した方が良いのではないか。さらに図表について債務償還年数と企業債残高の図を分けたり、債務償還年数の目安である30年に線が引かれていたりすると良い。また、2052(令和34)年度以降のシミュレーションはどのようなものか。

○事務局 前回の使用料等検討委員会と同様に今回も総合計画の計画期間である20年にプラス10年した30年間で財務シミュレーションを実施しているため、2052(令和34)年以降のシミュレーションは実施していない。

○委員長 企業債残高が増加していく状態でシミュレーションが終わっているのので、この図表だけ見るとその先が不安になってしまうので、現状の評価や2052(令和34)年以降どのように推移していくのかというコメントがあると良かった。

○G委員 可能であれば、2052(令和34)年度以降の30年間で過去30年間と同じ投資が行われた場合の企業債残高など、より長期的な見通しを示すのも良いのではないか。

○A委員 今後30年間で企業債残高が増加していくことについてのコメントを示し、市民に認識してもらうことで良いと思う。またシミュレーション期間について冒頭で説明して、今後4年ごとに見直しを随時行っていくものである旨を説明した方が良い。

○G委員 パターンAとBの違いはインフレ率をどう見るかの違いである。

○A委員 少し楽観的に見るとパターンA、少し悲観的に見るとパターンBになるので、概ね4%程度の使用料の改定が必要という解釈で良いのか。

○委員長 そのとおりである。

○D委員 客観的評価がないのでどちらが良いとは言えない。

○委員長 物価上昇に対してもっと悲観的に見るべきかというところなので、A委員の言うとおり、4%程度の改定が必要になるということだと思う。

2. <次第2>体系区分ごとの使用料改定について

○事務局 <次第2>を資料2にて説明

- ・パターン1から3の考え方について、ご意見をいただきたい。

[質疑]

○C委員 武蔵野市は他自治体と比較し、基本使用料が高く、従量使用料が安いということを知らなかった。新型コロナウイルス拡大の影響による収入の減少を解消して、安定的に収入を上げるために、基本使用料・従量使用料をともに上げるが基本使用料の改定率を高くするというパターン4はできないのか。

○事務局 パターンとしては考えられるが、以前の委員会の中で高齢単身世帯や困窮世帯等への配慮もすべきというご意見をいただいたことや、既に他自治体と比較して基本使用料が高い現状を鑑み、今回のパターンからは除いて提案させていただいた。

○委員長 固定費に関わる費用なので基本使用料の改定で対応しても良いのではないかと。高齢単身世帯や困窮世帯等への配慮は減免等で行えばよい。

○B委員 人口の増加が見込まれているなか、公平に負担していくと考えるならば、基本使用料を上げた方が良いのではないかと。また、その方が安定的な収入になるのではないかと。

○委員長 従量使用料の負担割合は市の施策にも関わる部分であると思うが、基本使用料の改定率を高くするパターン4も検討すべきだと思う。

○G委員 公平性には応益性と応能性の2種類あり、後者のように多く使った人に多く負担してもらうことも公平性と言うことができる。そのような考え方を補足しておく必要がある。また30 m³/月以下の使用者の割合は全体の8割だが、30 m³/月以下の使用料の割合が全体の7割であるということは、現状で30 m³/月以下が割安ということなので、基本使用料を上げるという考え方はあっても良いと思う。

○委員長 従量使用料を高くしているのは、以前は水資源等の観点から節水の目的があったが、もう少しきめ細かい判断をしても良いのではないかと。

- E委員 現在の区分のままで基本使用料を上げていくということは、経営上は有利にはたらくが、使用料区分を細かく設定するといった議論もあると思う。しかし、限られた時間で検討している中では、現状の区分を基本にし、基本使用料と従量使用料を均等に上げていくことが良いと思う。
- A委員 水道料金の改定との関係性はどうか。また、近隣自治体と比較して従量使用料が安い理由はなぜなのか。
- 委員長 基本使用料の改定率を高くするパターン4にすべきというわけではないが、検討は必要だと思う。
- D委員 安定的な経営につながるのであれば基本使用料を上げるべきと考える。従量使用料の部分が安いには理由があると思うが、考え方を見直す必要もあると考える。
- 事務局 各委員の意見を整理したうえで検討する。

3. <次第3>武蔵野市下水道総合計画（案）について

- 事務局 <次第3>を資料3にて説明

- ・下水道総合計画（案）の修正箇所についての説明
- ・経営戦略（案）とともに2月8日から28日までパブリックコメントを実施する予定である。

[質疑]

- 委員長 P. 2 図 1-1 の市内と市外を分ける白い川のような部分はわかりづらい。線を引いた方がわかりやすいのではないかと。P. 10 以降の石神井川排水区が黄色で見づらい。また、P. 35 図 3-33 の before の写真に点検の跡で字が書かれているが落書きのように感じられるのではないかと。
- 事務局 検討し、対応できるものは修正する。
- E委員 全体的に字が小さいので修正できないかと。
- 事務局 図表の字は特に小さいので対応したい。
- D委員 P. 40 の基本方針は計画の中でも重要な部分なのでイラストを入れたり、文字を太くしたりするなどして、ボリュームを出しても良いのではないかと。
- 事務局 修正を検討するが、パブリックコメントはこのままの形になると思われる。
- A委員 P. 50 グリーンインフラについて、市内で事例があればさらに記載した方が良い。
- D委員 下水道総合計画（案）について、P. 42 以降の「短期」「中期」「長期」の表と本文

との対応がわかりづらいので、アイコンにして、①や②とするのではなくそのアイコンで示してはいかがか。

○事務局 ご指摘のとおり対応する。

4. <次第4>武蔵野市下水道事業経営戦略（案）について

○事務局 <次第4>を資料4にて説明

- ・経営戦略（案）の修正箇所についての説明
- ・下水道総合計画（案）と同様に2月8日から28日までパブリックコメントを実施する予定である。

[質疑]

○G委員 P.12以降の「前経営戦略」と記載のある箇所は、“前”ではなく作成年度とした方が良い。

○委員長 P.2の図1-1で経営戦略と下水道総合計画は両輪なので、並列で記載した方が良い。

5. <次第5>委員会報告書（案）について

○事務局 <次第5>を資料5にて説明

- ・1つの考えにまとめるのではなく、両論併記でいただいた意見を記載していく予定である。

[質疑]

○A委員 記載される意見は議事録から抜粋されるのか。

○事務局 そのとおりである。

○委員長 報告書のボリュームはどの程度の想定か。また委員会名義で良いのか。

○事務局 できるだけ多くの意見を掲載し、10ページ程度の想定である。また、名義に関してはそのとおりである。

○G委員 これまでの意見のうち、図表の修正など、反映されたものは記載せず、議論の過程で出た意見で読み手にとって有益な情報について、記載すべきではないか。また、第8回委員会の中で意見を述べることも可能か。

○事務局 図表の修正などの意見は極力省略し、大きな視点からいただいた意見を議事録からピックアップして記載していきたいと考えている。また、報告書は3月末までに取りまとめる想定のため、第8回委員会の意見も記載したいと考えている。

○委員長 議事録からピックアップされたものを見て、各委員の考えを改めて取りまとめるやり方でも良いかと思う。